

# デジタル化の現状と将来展望

— デジタル化はアナログに勝るのか? —

- デジタル機器導入に至るまで (CBCT、CAD/CAM、IOS、顎運動測定器等.)
- デジタル化の現状 (デジタル化のメリットと課題)
- 補綴に応用すべきデジタル化とは?
- メタル VS セラミック VS ジルコニア
- デジタル化の未来 (IDS2023に参加して)



## 抄録

近年、歯科治療におけるデジタルワークフローについて、沢山の報告がされている。デジタル化は、アナログと比較すると、印象材や石膏などの材料費が削減できるだけでなく、時間の短縮や手作業の減少を含めたメリットがある。一方、設備費や保守料などの投資も必要となり、経営面での負担も大きくなっている。また、CAD/CAMシステムによるジルコニアを用いた補綴装置を装着

する機会も増えたが、割れない、硬い材料を使うには、できるだけ生体に調和させた咬合を与える必要がある。今回は、デジタル化を自院に導入するまでの経緯と葛藤を含め、インプラント治療および包括的な治療を行う上で、デジタルワークフローに感じている現状と課題、および自分が期待している今後の展望について報告する。



講師  
**Dr. 梅原 一浩**  
(Kazuhiro Umehara)

### 【略歴】

- ・1988年 東京歯科大学卒業
- ・1993年 同 大学院 修了(歯学博士)
- ・1993~1994年 ペンシルベニア大学歯学部  
歯周補綴学講座留学
- ・1994年~ 医療法人審美会 梅原歯科医院 勤務
- ・1995~2000年 東京歯科大学第二専修科  
(歯科保存学第2講座) 修了
- ・2002年~ 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座  
非常勤講師
- ・2014年~ 慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室  
非常勤講師
- ・2015年~ 岩手医科大学歯学部補綴・  
インプラント学講座 非常勤講師

### 【所属】

- ・日本口腔インプラント学会 指導医・専門医
- ・日本補綴歯科学会 指導医・専門医
- ・日本歯周病学会 専門医
- ・ITI Fellow

**日時** 2023年 **10月29日** (日)  
10:00~16:00

**会場** 沖縄産業支援センター  
会議室(大) 302+303  
〒901-0152  
沖縄県那覇市字小禄1831番地1  
TEL: 098-859-6234

**定員** 50名 限定  
(ご入金確認順とさせていただきます)

**参加費** 15,000円  
(昼食、消費税込み)

下記にご記入の上、**03-3238-7561**までFAXにてご送信下さい。

## デジタル化の現状と将来展望 セミナー in 沖縄 申込書

フリガナ 受講者氏名	医院名	
<input type="checkbox"/> DR <input type="checkbox"/> DT <input type="checkbox"/> DH <input type="checkbox"/> DA <input type="checkbox"/> その他	ご住所 〒	
ローマ字		
E-mail.	TEL.	FAX.

Dr. 梅原 一浩

※お客様の個人情報に関しましては、個人情報保護ポリシーに基づき厳重に管理致します。